

目標達成計画

作成日：平成 27 年 6 月 11 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	4月1日よりセンター方式によるケア記録に統一した。不慣れであったり、新人スタッフへの伝え方が十分でなかったりして、記録が不十分である。	フロアのスタッフが利用者に対しての気付きや、観察力を身に付けて記録することでケアプランにつなげられるようにする。	今まで通り遅出スタッフが主として記録に携わるが、関わったスタッフや気付いたスタッフも記入して記録の充実を図っていく。	12ヶ月
2	48	利用者においては体力や体調面で心配なことが多くなっているが、そればかりにとらわれず精神面での充実も図っていく。	スタッフは利用者が季節を楽しんだり、できることや好きなことの継続や散歩や体操などで気分転換したり、行事に参加できるように関わっていく。	スタッフの配置なども考慮しながらまた利用者の体調を見ながら1日の計画をスタッフ間で申し合わせて、内容を相談したり利用者の出来ることや好きなことを取り入れて楽しみを増やしていく。	12ヶ月
3	13	体調面での見守りが増えており、医療の知識や医療につなぐケアの向上を図っていく。	体調の見守り方や観察力をつけて、医療職に状態が説明できるようになる。 医療に繋げるケアの在り方を学び、利用者の安心安全な生活に繋げていく。	看護職員による医療に繋げるケアの研修会を定期的に行い、知識や技術の習得に努める。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。